

1. 件名：原子力規制検査のための重要度評価手法等に関する日本原燃株式会社との面談

2. 日時：令和2年10月9日（金）10時00分～12時15分

3. 場所：原子力規制庁 2階打合せテーブル（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、関主任監視指導官

技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門

森主任技術研究調査官、久保田統括技術研究調査官、

寺垣技術研究調査官、横塚技術研究調査官

日本原燃株式会社

安全・品質本部 副本部長 他9名

5. 要旨

（1）配布資料に基づき、令和2年9月15日の面談における日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）の説明を踏まえ、原子力規制庁は、日本原燃が検討した核燃料施設等の特徴を考慮した重要度評価について、同評価の考え方、具体例等を日本原燃に確認した。また、原子力規制庁より、今後実施される公開会合で同評価について紹介して欲しい旨を依頼した。

（2）令和2年9月14日の面談における日本原燃の説明を踏まえ、原子力規制庁は、再処理施設を対象としたリスク評価を検査に活用するに当たって、日本原燃が想定する課題等を確認した。

6. 配布資料

核燃料施設等の特徴を考慮した重要度評価について（日本原燃）